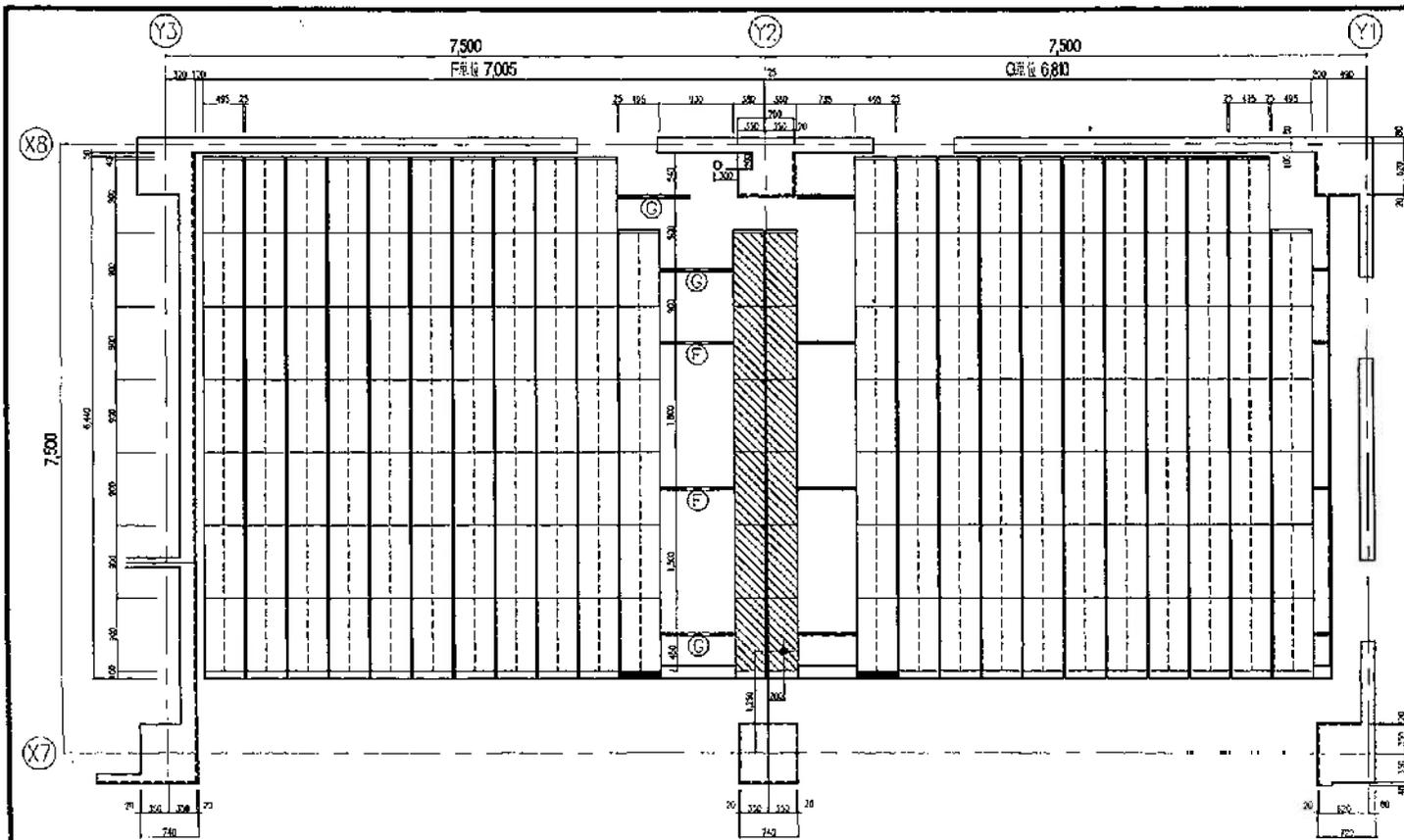


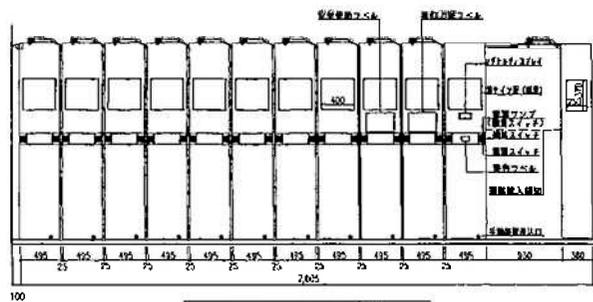
# 仕 様 書

- 1 件名 電動書架の移動用レールの老朽化に伴うレールの取替作業
- 2 作業場所 放送大学附属図書館 2F 開架閲覧室
- 3 対象移動棚 電動式移動書架エレコンパックELS型(株式会社文祥堂製) F単位、G単位

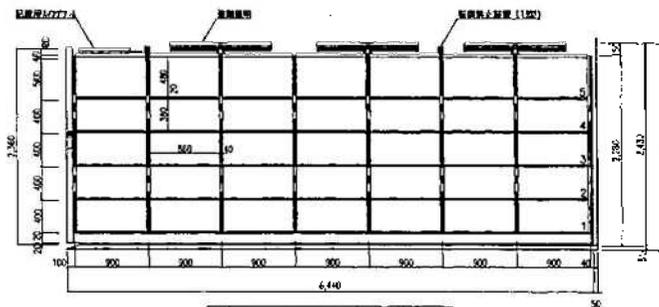
【F単位】S型6連複式主可動棚	1 台
S型7連複式分散可動棚	10 台
S型6連単式固定棚	1 台
【G単位】S型7連複式主可動棚	1 台
S型7連複式分散可動棚	9 台
S型6連複式分散可動棚	1 台
S型6連単式固定棚	1 台
- 4 作業日時 令和2年2月10日～2月19日  
9時から17時まで
- 5 作業内容
  - (1) 対象の電動式移動書架の解体・搬出・仮置きを行うこと(現状の躯体に埋め込まれたレールはそのままとする)。  
仮置きは同フロア内の指定する場所とし、別紙図面参照のこと。
  - (2) 電動式移動書架設置場所に、新規にレールを設置すること。レール形状は別紙図面参照のこと。  
レール施工方法は、現状の床の上に合板(t21)を敷設し、レールを取り付けた後、レールとレール間を合板等で敷設し、移動書架通路内をフラットに仕上げるパネル床上げ方式とすること。  
また、床仕上げはPタイルとし、操作面側には傾斜板を取り付けること。
  - (3) 解体された電動式移動書架を元のレイアウト通りに再組立てをすること。
- 6 その他
  - (1) 解体に必要な工具類、搬出に必要な機材、作業員等を確保する経費は請負者の負担とする。
  - (2) 電動式移動書架の仮置きに際しては担当係員の指示に従い、部材仮置き場の養生や小物類は箱詰めする等、細心の注意を払うこと。
  - (3) ダンボール、梱包材、ガムテープ、記入用マジックペン等の作業に必要な資材費は請負者の負担とする。
  - (4) 作業に当たって、建築物を破損しないよう、必要に応じて養生を施すこと。なお、破損した場合には請負者の負担にて現状に復旧するものとする。
  - (5) 電動式移動書架の再組立を行うので、設置や操作において支障のないよう、メーカー保証(文祥堂製)が出来るものであること。  
なお、電動式移動書架解体に伴い、収納されている書籍は別業者が事前に箱詰めを行い、仮置き・再配架までを行うこととする。



平面図 S=1/60  
※網路巾の公差は ±0.1mm



正面図 S=1/60



側面図 S=1/60

数量表 (基本型W900)

型式	台数	延段数	
		W900	
<b>F単位</b>			
6道式 主可動部 5段	1	60	
7道式 分岐可動部 5段	10	700	
6道式 固定部 5段	1	30	
合計	12	790	
<b>G単位</b>			
7道式 主可動部 6段	1	84	
7道式 分岐可動部 6段	9	756	
6道式 分岐可動部 6段	1	72	
6道式 固定部 6段	1	36	
合計	12	948	
総合計	24	1,738	

各単位 設備表

単位	モーター (各可動部)	運転用照明 (40W)	電気容量 (三相 200V)
F単位	40W × 1	3灯ノ通路 計36灯	MAX. 6.79 A
G単位	40W × 1	3灯ノ通路 計36灯	MAX. 6.79 A

< 特記事項 >

- ・ 積載物……………参照
- ・ 積載質量……………35 kg/段
- ・ 網路最大積載質量…40 kg/段
- ・ レール方式……………パネル床上げ方式 高さ51mm

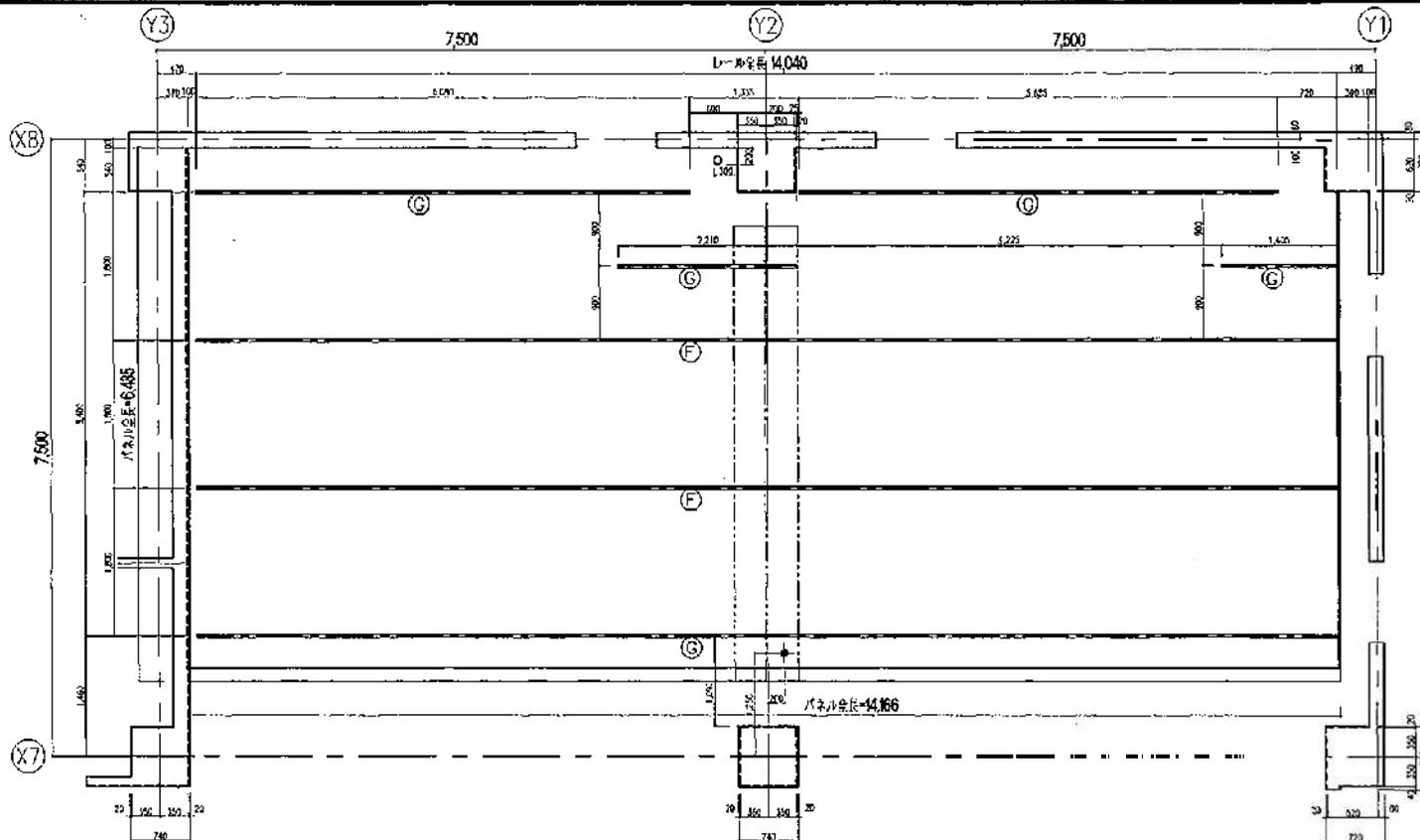
・ F・G単位本体一時解体のうえ、パネル床上げレール解放後、本体再組立工事 (既設床レールは別冊) (E.L.S型)

< BE05-06B・BE04-127・E85-07B・BE89-1043 >

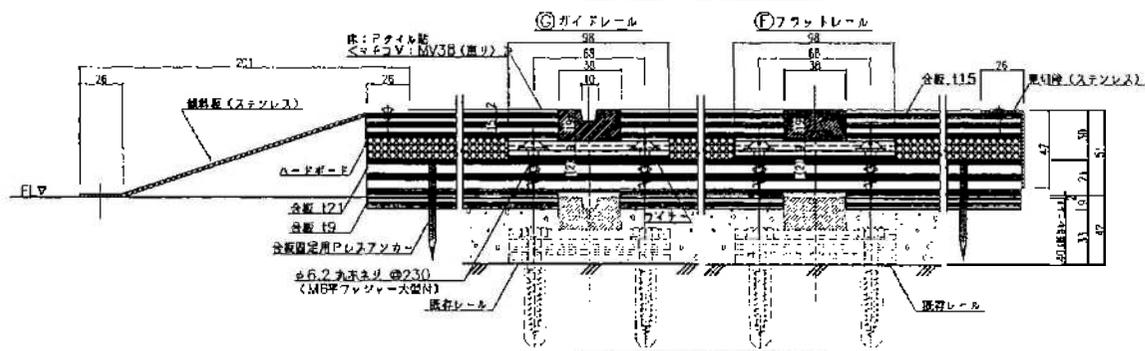
- ・ 不足部は別冊
- ・ 上部転倒防止設備付
- ・ 取付用板
- ・ 自動リヒット機能
- ・ シグナルLEDディスプレイ装置付
- ・ 手動装置付
- ・ 前面網板付
- ・ 運動制限付 (40W)
- ・ 空気圧検出器兼外観 (グリーンLED) 付 (E単位)

凡例

- 固定部
- 主可動部
- 分岐可動部
- ガイドレール
- フロットレール
- 電源投入口 (現物のものを参照)
- 空気圧検出器兼外観



レール配置図 S=1/60



レール断面図 S=1/3

- 凡 例
- 固定端
  - ⊙ ガイドレール
  - ⊙ フラットレール
  - ✦ 貫通出入口 (現状のものを使用)

\*場合により、寸切ドリが六角ドリに変換になる場合があります。